

令和4年度第8回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和4年10月27日 午後2時00分
2. 開会場所 田上町役場 会議室2
3. 出席委員 教育長 安中 長市
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平
教育委員 山田 正夫、齋藤 美里、渡邊 悦子
4. 欠席委員 なし
5. 職務のため出席した者
事務局長 時田 雅之、指導主事 佐藤 春男、局長補佐 諸橋 弘樹
6. 会議に付した事件
 - (1) 田上町スポーツ表彰について
 - (2) 諸報告
 - (3) その他
7. 会議の経過及び結果
令和4年10月27日午後2時00分、令和4年度第8回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を1日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に齋藤委員を指名した。

教育長 議事に入ります。田上町スポーツ表彰について、事務局より説明願います。

局長 では、田上町スポーツ表彰についてであります。今回帝京長岡高校に在籍しております水野朝陽さんが国体で優勝したという事で報告がありました。資料1枚はぐっていただきますと、推薦書、その次のページには新潟日報に掲載されました新聞の記事、それからインターハイの関係資料をつけております。最後に、町のスポーツ表彰規程を付けておりますが、今回は第5条第1号の該当になります。スポーツ栄誉賞という事で、全国大会で優勝した個人又は団体という基準から、水野朝陽さんの推薦をお願いしたいという事です。

説明は以上です。

教育長 ありがとうございます。

委員の中で分からない方もおられるので、この規程の経緯を説明しても

らえますか。

補佐

令和 2 年に制定をさせていただきました。田上町では町の表彰というものがあありますが、そこにはスポーツの分野が含まれてなく、スポーツに貢献された方が表彰される機会がありませんでした。

そこで、スポーツの分野においても規定を設け表彰していこうという事から、教育委員会で表彰規定を制定いたしました。表彰の種類として今回のスポーツ栄誉賞、全国大会入賞及び北信越大会で優勝した場合は奨励賞、長年の指導育成等における功労賞としております。

表彰の第 1 号は、砲丸投げの種目で全日本選手権を優勝した高橋さんでした。今回は第 2 号という事になります。

教育長

2 年前に新潟で陸上の大会がありまして、砲丸で田上中学校出身の高橋さんという女性の方が優勝して、全国大会で優勝したのに何もないのは残念だという事でこのような規定で表彰することになりました。

今回で 2 人目です。この方については近日中に表彰という事になるかと思っておりますのでよろしくお願いします。

今日の議題にはありませんが、実は野球の方で田上中学校が今年県大会で準優勝し、北信越大会でも 1 勝して 2 回戦まで進んだんですが、その中で田上中学校の川住さんと藤田さんの 2 人が新潟県の選抜チームに選ばれて、つい先日北信越大会に行って優勝しました。今週、静岡の方で大会に出場すると。これは、このスポーツ表彰とは少し違うんですけども、選抜チームという事で報奨金をお渡しいたしました。

それから、全国的なレベルで言いますと、羽生田小学校 6 年生の畠山紗来さんが、統計グラフ全国コンクールで日本品質管理学会賞を受賞しました。

ご質問等ありませんか。

それでは諸報告という事ですけども、局長の方から町民体育館について報告願います。

局長

町民体育館の今後の方向性という事で、先回の教育委員会で資料を提出し説明させていただき、移転新築の方向性について議会においても説明させていただきました。9 月 28 日に社会文教常任委員会で説明しご理解をいただき、10 月 13 日の議会全員協議会において同じ内容を説明させていただきました。新設についてはご理解いただきましたが、今の体育館の利用

について、新しい体育館の具体的なスケジュールが決まった段階で閉めさせていたきたいという話しをさせていただきましたが、議員の中から安全を担保しなければ使わせられないのではという話しをいただきまして、それから業者との打合せを行ったり点検について検討したりしてきたんですが、安全を確認できるような点検方法とあまりお金をかけずに簡易な修繕の中で天井材を安全に保つということが、なかなか難しい状況です。またこのあと点検業者と話しをさせていただいて、検討していこうとは思っているのですが、ざっくり今の流れで言いますと安全を担保しながら新築を同時に実施するのは非常に難しい。要は、今の町民体育館の天井が落ちないという担保を取るの難しい。1億も2億もかければそういった処置をすることもできますが、新しい施設を建設したいという方向性を示した中で、既存施設にそこまでのお金をかけられないので、事務局内で色々話しをしていたんですが、やむなく閉館を早めさせていただく方向になるのかなという状況であります。まだ決定ではありませんが、業者と打合せをしていく中で手立てがなければ、けが人が出ては何にもなりませんので、そこを最優先に考えて対応していきたいと思います。

来週の11月2日に新体育館の新築にあたって何年度にどのような仕事が出てくるか、町長、副町長、総務課長と財政担当から入ってもらい打合せを行う予定であります。

教育長 議会の方からは新築について理解は頂きましたが、今の体育館については使用するなら安全を担保するべきだと言われました。点検自体実施することも難しいということでもあります。

委員の皆さんからご意見頂きたいなと思っています。スポーツ協会からは何とか継続して使わせてくれと要望は来ているんですが。難しいという事です。

石田委員 閉館を早めるという話しがありましたけど、いつ頃になる予定ですか。

局長 中学校部活動の利用については学校長に話をして了解をもらえばいいんですが、一般の利用団体の皆さんへ説明するとき、根拠が必要になってくると思います。その根拠となるものをどこに求めていくか悩んでいるところです。

石田委員 代替案を出さないと利用者の人たちは容易に首を縦に振ってくれませんよ。努力義務として閉館を早めることはいいと思うんだけど、代替案

をある程度お示しした中で説明しないと、なかなか話しは進みませんよね。どんな形で持っていく考えですか。

局長 以前、閉館した場合に学校開放等へ振り分けたらどうなるかシミュレーションをしています。その時点では、テニスだけ利用の日程が取れないということで、その他の団体は利用回数が減りますが何とか活動ができるような形が取れそうだとということで担当からは聞いております。

教育長 補佐は大体、頭の中に残っていますか。

補佐 大体は。

教育長 では私の方から質問。テニスはどこにも入れないと、他の団体は入れられるところがあるけど回数が半分になったり三分の一になったり曜日も変えなくてはいけなくなったりと、そういうことなんじゃないかな。

補佐 記憶が定かじゃないんですけど、その時の資料を前の担当者が作っていたのですが見つからないのです。どこにどうやってはめたかは覚えてないんですが、全く無傷ではなかったと思います。大体行けるねと話していたことは記憶にあります。

教育長 もう一回言うけど、テニスだけはだめだけど他のは大丈夫だよじゃなくて、テニスはもうだめで他のも一杯我慢してもらわなくてはだめですよという事ですよ。

補佐 テニスは今の時間帯での移動は不可能だったという記憶です。1年くらい前の話しなので、もう1回今の使用状況でシミュレーションしなくてはいけないと思います。

石田委員 多分、その時はまだ新築の話は出てなかったですよ。いずれ駄目になるだろうという前提だったと思うんですよ。今度新しくなるんだという道標が出た時に、利用者の方は多少の我慢はしても新しくなるんだからという事で前向きに考えてくれますよね。それに対して半分になってしまふとかわいそうなんだけど、閉鎖する時期とスパンをある程度出さないと、その分だけ我慢して下さいと持っていけると思うんですけども。

無期限に明日閉鎖しますので新築に向かって走り出していますから、いつになるかは分かりませんでは通らないと思うんです。大体の想定だけでもあれば皆さんは多分喜んで、あと工夫次第で日程をずらすとか時間をずらすとか、そういった努力はしてくれると思うんですよ。その辺は話の持って行きようで、そんなに高いハードルではないと思うんですけれど

もね。

局長

閉館に伴って調整しなくてはいけなくなった場合に、春先から秋にかけては影響が少ないのかもしれないですけども、冬場はかなり回数に影響が出てくるのではないかなど。屋外の施設は使えませんので。

それと、新築という前提があるのである程度は理解いただけるのかもしれませんが、私が閉館にあたって考えていたのは、できれば1年間くらいの期間であれば皆さんからご理解いただけるかなど。建設が始まったときのタイミングで閉館をして、建った時に新しい施設で活動してもらおうかなという頭ではいたのですが、安全の担保という話を頂いたので、詰めが甘かったかなど。人の命には代えられないので、もしあの天井が落ちてしまっただけでは逃げることもできませんし。この場で話しが出来るのは、一刻も早く新築のスケジュールを組んで、閉館の期間を短くすることくらいしか言えませんが。

石田委員

それしかないよね。安全性を確認することが今回の場合、非常に難しいですからね。地震対策と一緒に明日起こるかもしれないし、10年後に来るかもしれない。安全を担保ということになると、役所サイドからすれば何とも……。今言うように1年だったら無理もないかもしれませんが、そういう訳にはいきませんよね。前倒しで閉館の時期を探らなくてはならぬ、ある程度我慢してもらいながら代替案で我慢してもらいしかないとしょうね。

渡邊委員

文化活動で古い公民館を使っていた時は、床が弱いからこちら側では立たないでとか言っていました。夏は暑く冬は寒くて、交流会館に移ったら天国で。目標が見えると我慢もできるので、新しく素敵なものを早めに提示すれば何とか我慢してくれるのでは。でも全然活動ができなくなっては辛いですよ。回数が減っても出来ればいいんですけども。

教育長

もう少し業者と打合せをしてみる。検査が出来るのかどうか。非常に難しいなと思っているけれども、それをやってみる。それがだめなら大変難しいという話しになって、今度は閉鎖を考え、閉鎖するなら今使っている人たちがどういうふうに使っていくかというシミュレーション、みんなが少しずつ同じように平等に我慢をする計画を作り、教育委員会としては1日も早く新しい体育館に着手したいと、そういうことでいいですか。（「はい」の声）

中学校の部活は土日のいずれかはやらないんですよね。それも考えて、少なくともどちらか 1 日は空けられるんですよね。それも計画の中に入れてもいいんじゃないかと思います。

小学校もそうですけれども、卒業式から入学式までの間、準備などで体育館が 2 週間くらい使えなくなるんですよね。それも工夫して使わせてもらうとか、一つずつ皆さんが努力をして使えるようにしてくしかないかな。

これも、新築をするよという方向だからこんなふうに喋れるんです。それがなければ何を言ってるんだという話しになりますよね。これからどうするんだと。そういう意味で言うと新築という方向が出たからこんな話しができるんだと。

石田委員 新築と閉鎖はワンセットですよね。閉鎖だけでは話しができないだろうし。とりあえず閉鎖というのろしを上げてみて、次の段階で新しくという話しをしていけば。教育長が言われるように、創意工夫ですよね。

教育長 みんなが同じように我慢する。そういう事ですよね。

山田委員 できるだけ新築の方向性だけじゃなくて、具体的な内容がある中で話しをしてもらわないと、おそらくその場でいつできるんですかという事になると思います。我々いつまで我慢すればいいんですかと。

局長 新築という案は了解いただけたんで、山田委員言われるように具体的にいつ頃どうなるのかという事が皆さんの関心の的になってくると思います。早目にしたいと思います。

教育長 財政、つまりお金の見通しを立てる。それから、どれくらいの規模を建てるか。最後に何処に建てるか。重たい話しでありました。他の委員の方どうですか。

それでは体育館の件はよろしいですか。他に何かありますか。

局長 ありません。

教育長 では私の方から学校関係の話しをさせていただきます。10月1日、田上中学校の運動会。去年午前中で終わったんですが、今年は午後応援合戦だけやりました。非常に良かったです。午前中の競技も去年よりは幅が広がりましたし、子ども達の動きもよくて良かったなと思っています。

10月2日の日曜日、何年かぶりに交流会館で産業まつりをしました。私は用があって行けませんでした。田上小の子で太鼓クラブの発表をさせてもらいました。護摩堂太鼓と一緒にやってやりました。なかなかコロナ

で発表する機会もなく、今回産業振興課から声がかかったんだけど、いい発表だったと思います。羽生田小がダンスの発表をしたようです。

10月8日土曜日、田上小運動会、少し風が冷たかったのですが子ども達は一生懸命頑張っていました。羽生田小はコロナの陽性者が増えてしまって、とても運動会ができないということで、1週間遅らせて14日金曜日にやりました。残念ながら私は見れなかったのですが。

10月13日田上中学校で防災訓練のプレイベントとして、津南中等の5年生が何人か来て、お互い防災で勉強したことを話し合っ、車座になって色々な勉強をしていました。それが午前中。午後は町内町外から企業が集まってきて、防災の時に利用できる商品を紹介しました。その中のものを使って夕方から夕飯を作って食べました。そして先日の日曜日、県との防災訓練が実施されました。関係団体から約1,000人集まりました。町民の方も400人くらい避難者や手伝いという事で3つの体育館に集まってテントを立てたりパーテーションを組んだりしてもらいました。田上中学校の代表が交流会館で津南中等と交流し勉強したことを発表しました。以上です。

それでは、第8回田上町教育委員会定例会を閉会いたします。